

東日本大震災後の復興及び将来へ向けての課題 ～福島県における医療の復興・再生へ向けて～

震災からまもなく20ヶ月。東日本大震災は、相双地域の医療が抱える多くの課題を浮き彫りにしました。
あの日、何が起こり、そこから何を見出し、どう変わっていくか... 救急医療・被ばく医療の側面から検証します。相双地域の復興に必要とされる医療の再生。現状を共有し、出来ることを見つけていきます。
地域の皆様も多数ご来場いただきますようお願いいたします。

平成24年 **11月3日** (土・祝) **13:00~16:00**

サンライフ南相馬 集会室 南相馬市原町区小川町322-1

総合司会 田勢長一郎(福島県立医科大学医学部救急医療学講座)
有賀 徹(昭和大学病院 病院長 / 日本救急医学会代表理事)

1 医療復興における県の役割及び課題

島田二郎 (福島県立医科大学医学部救急医療学講座 講師)

2 メディカルコントロール(MC)体制の再構築及び課題とドクターヘリの役割

田勢長一郎(福島県立医科大学医学部救急医療学講座 教授)

3 福島県の被ばく医療体制の構築と今後の課題

長谷川有史(福島県立医科大学医学部救急医療学講座 助教)

4 厚生労働省及びDMATの果たした役割及び今後の支援

近藤久禎 (国立病院機構災害医療センター臨床研究部政策医療企画研究室長)

5 救急医学会の取り組み

①原子力事故現地対策本部(OFC)における活動、今後の支援

森村尚登 (横浜市立大学医学部救急医学講座 教授
/ 日本救急医学会福島原発事故緊急ワーキンググループOFC班長)

②日本救急医学会の支援活動医療活動および今後の展望

横田裕行 (日本医科大学救急医学講座 教授 / 日本救急医学会福島原発事故
災害に対する後方搬送等についてのワーキンググループ担当理事)

6 被災地医療の再生に向けて

①病院の医療の崩壊から再生に向けての現状、今後の課題

金澤幸夫 (南相馬市立病院 病院長)

②相双地区の医療の再生へ向けて— 相馬地区の対応および相馬医師会としての課題—

熊 佳伸 (公立相馬総合病院 病院長)

入場無料

主催: 福島県立医科大学医学部救急医療学講座 災害医療総合学習センター

共催: 日本救急医学会 後援: 福島県 福島県医師会 相馬市 南相馬市

問合せ先: 福島県立医科大学救急医療学講座 電話024-547-1581 メールqq99@fmu.ac.jp